

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	三原市立三原小学校		
学校長氏名	赤羽 義憲	栄養教諭氏名	有田 道子
職員数	27名	児童・生徒数	466名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

各学年において、担任・栄養教諭が連携して食育の授業を実施。学期ごとに、年3回「ぼく・わたしの健康週間」を全校児童で実施。委員会活動を中心に全校に対して給食や健康についての活動を行っている。PTAでは試食会・親子料理教室・食に関する相談室を実施。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

学校評価表に食習慣の定着をあげ、学期終了時の児童の肯定的評価目標を85%に設定。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 担任と連携した授業実施の取組

- ・1年生では1学期に「金メダルのあさごはん」について授業を実施し、健康な学校生活を送るために赤・黄・緑の食品が揃った食事をとろうとする意欲を育てた。
- ・5年生では担任と連携し、調理の計画・調理実習を行った。
- ・2年生では担任・ゲストティーチャー・栄養教諭が連携して「繊維のひみつ」の授業を実施し、進んで野菜を食べようとする意欲を育てた。

【取組2】（テーマ） 保護者と連携した食育の取組

- ・夏期休業中の2日間、PTA主催、保健福祉課との連携による親子料理教室を実施。
- ・10月に給食試食会を実施。
- ・夏期・冬期懇談会時に養護教諭と連携して食の体験・相談室を実施。

【取組3】(テーマ) 地域とつながる食育

- ・5年生の総合的な学習(地域学習)で、伝統的なたこぼ漁に参加した後、お礼の会を開催した。その際に、郷土料理であるたこ飯等を作っておもてなしをすることを計画し、実際にお礼の会でたこを使った料理を提供した。
- ・親子料理教室では食生活推進委員の方の指導を受けながら、充実した調理実習を行うことができた。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・広島県教育委員会の作成資料を全校児童に配付。食育ウィークに児童の考えた献立を給食で実施し、給食便りに掲示した。
- ・各学級にポスターの掲示を依頼し、児童がシールをはることで100万食プロジェクトへの興味をもたせるようにした。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・食習慣の定着は目標値85%に対して89%達成することができた。
- ・「ぼく・わたしの健康週間」については長年の取組により保護者にも定着しており、啓発にもなっている。

【課題】

- ・健康課題をもつ児童への取組が不十分である。
- ・教科での食育は体育と家庭科でしか行っていない。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・健康課題をもつ児童への取組が充実するように、今後も担任から懇談会時の食の体験相談室への呼びかけ等を行ってもらおう。
- ・教科で行う食育の時間を増やすよう計画していく。